

一般財団法人丸文財団
産学官交流助成 候補者推薦要領
第 22 回 (2018 年度)

1. 趣 旨

産業技術分野ならびにその関連分野における国内外の若手研究者の研究交流活動を支援助成することを目的とし、我が国の民間、大学および公的研究所等の複数研究機関が、**一定の制度**(*)、または契約に基づいて進める研究設備の共同利用等の連携交流研究(これには民間-大学間、公的機関-大学間、大学-大学間等各種研究機関相互の交流研究や修学が含まれます)に参加する研究者および大学院生に対して、旅費、交通費等を助成するものです。

(*) 一定の制度とは、国立研究開発法人産業技術総合研究所の「連携大学院制度」等や国立大学法人の「全国共同利用施設」等(あるいはそれに準じる施設等)の制度を指します。

2. 対 象 技 術 分 野

原則として以下のエレクトロニクス関連分野を助成対象とします。

集積デバイス技術及びLSI システム
光エレクトロニクス
先端デバイス・材料
エネルギー・環境エレクトロニクス
バイオ・医用エレクトロニクス

3. 助成候補者資格

連携大学院制度、またはこれに準ずる複数の研究機関が契約等に基づいて進める「連携交流研究」に参画し、上記2の対象技術分野に従事する研究者および大学院生(国籍は問わない)で、以下の条件を満たす方

- 1) 2019 年 3 月 31 日現在で、35 歳以下の方
(ただし、特別な理由がある場合は 40 歳以下でも可)
- 2) 優れた研究能力を有し、「連携大学院制度」およびこれに準ずる「連携交流制度」を有効に活用する方
- 3) 本助成により、連携交流研究で顕著な研究成果が期待される方

4. 助 成 内 容

2018 年度予算成立が前提となっています。

- 1) 助 成 総 額: 未定
- 2) 採 択 件 数: 未定
- 3) 助成対象期間: 原則として、2018 年 4 月から 1 年間

5. 推薦手続

(1) 推薦者:

連携大学院制度においては客員教員、客員教授またはこれに準ずる方で、連携交流研究を推進する当該大学院生および連携交流研究者の受入責任者

公的研究所等においては研究室長、研究部長またはこれに準ずる方

(2) 推薦限度件数:

推薦者1名につき、推薦数は2件以内

(3) 推薦方法:

「産学官交流助成候補者推薦書」を事務局あてに提出

6. 推薦依頼期間

原則として支援開始2ヶ月前まで

7. 選考方法

選考委員会で選考し、理事長が決定します。

選考委員長: 榊 裕之 (豊田工業大学学長)

専任選考委員: 堀 越 佳 治 (早稲田大学名誉教授)

8. 結果の通知および助成金交付

(1) 結果の通知: 実施の約1ヶ月前まで(推薦者あて)

(2) 助成金の交付: 随時

9. 成果報告

助成期間を経過した時点で、所定の成果報告書を当財団に提出

10. 推薦書等の送付先および連絡先

東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号 丸文ダイヤビル8階 (〒103-0011)

一般財団法人丸文財団

専務理事・事務局長 小野澤 隆

電話: 03-3661-1881

FAX: 03-3808-2959

URL: <http://www.marubun-zaidan.jp/>

産学官

産学官交流助成候補者推薦書
第22回(2018年度)

西暦 年 月 日

一般財団法人丸文財団 御中

推薦者
役職・氏名 _____ ・ _____ 印

候補者との関係 _____

所属機関名 _____

所在地 〒 _____ ・ _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

下記の者を貴財団の産学官交流助成候補者として推薦いたします。

ふりがな

ローマ字

氏名 _____ (_____)

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (_____ 歳) 国籍 _____ 男 女

所属機関・学校名 _____

身分 _____ 所属又は在籍大学院指導責任者名 _____

連携先の指導責任者名 _____

所属機関所在地 〒 _____ ・ _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

自宅住所 〒 _____ ・ _____

(国内の現住所)

(連絡先) TEL _____ FAX _____

1 略歴 (学歴・職歴・学位取得又は取得見込時期)

2 研究題目

3 「連携大学院制度」又はこれに準ずる制度における「連携交流」の目的及び研究等の内容
(進捗状況と今後の計画) (紙面不足の場合は、別紙を添付してください)

4 研究者としての力量と推薦理由

5 助成期間内(2018年4月1日～2019年3月31日)における連携先研究機関等での滞在研究期間、
主に利用する交通機関及び希望助成金額

(1) 滞在研究期間 西暦 _____ 年 _____ 月 ～ _____ 年 _____ 月まで 通算 _____ ヶ月

(2) 主な交通機関 _____ 概算費用 _____ 円

(3) 希望助成金額 _____ 万円

6 他の助成金の取得・申請の状況 (既に取得している助成金および申請中のもの等)